

琉球大学学術リポジトリ

沖縄返還交渉資料第4巻

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-07 キーワード (Ja): 総理訪米, 米国人記者との会見, 総理, 愛知外相, ニューヨーク・タイムズ, 愛知外相・ロジャーズ長官会談, 統合局長・スナイダー会談, 記者会見, 外相, 官房長官, 米国下院歳出委員会対外活動分科委非公開聴聞会, スナイダー国務省日本部長 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43630

田中大使

ソカ
ヒト

万
報

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

大政事外務
務次 房
臣官官審審長
候徳文会當給
入電厚計
長 参調折
領 参領旅移
移 長

電信写

総番号(TA) 2075
69年 5月 16日 9時30分 米 同 主管
69年 5月 17日 8時38分 本 省 米北1 発着

外務大臣 殿 下田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

タナカ大使邦人記者会見

第/505号 平 至急

タナカ大使は/6日4時半より約/時間当地邦人記者と会見し、要旨次のとおり述べた趣。

1。来週から政府筋(國務、国防、ホワイトハウス)に COURTESY CALLをしたあと、議会、報道関係、学会等の関係者とも会いたい。また、あと2週間てアイチ外相が来られるので、シモダ大使及び館員とともにその準備を進めるつもりである。今後は当地と東京を行き来することとなろうが、今回の滞在は約/カ月、次回は今後の交渉の進展とにらみ合わせて決めることとしたい。

2。(オキナワ返かん交渉に関連し米側は極東軍事情勢をきびしく見ているが外務省はどう見ているか、との質問に対し) 外務省も極東情勢をらく観視してはいない。然し返かん交渉は国民の総意として進めなければならない。同時に極東の軍事情勢が返かん交渉に影響することは否定し得ず、交渉の前とを安易に考えるべきではない。

参北東經
長 中西經
参北北保
中 参一
南 参西東洋
寄 西東

近ア長 参書近ア
経 次総経國万
長 参貿統國
経協長 参政技二
長 参政經科 国一理
長 参政經科 国一理
長 参社專
長 参領内外
文 長 一二

外務省

大
付